

TOTO

クリーンドライ(高速両面タイプ)

TYC420型

日本国内専用

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表 示	意 味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



○は、してはいけない「禁止」の内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。



●は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

警告

	屋外や浴室など湿気が多い場所や直接水のかかる場所に設置しない 火災、感電の原因になります。
	腐食性ガスや可燃性ガスなどの雰囲気中に設置しない 火災の原因になります。
	粉塵の多い場所に設置しない 火災、感電の原因になります。
	塩害地域に設置しない 感電の原因になります。
	指定する電源(AC100V)以外では使用しない 火災の原因になります。
	電源線・電源プラグが破損するようなことはしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、 重たいものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。 傷んだまま使用すると、火災、感電の原因になります。

警告

	ガタついているコンセントは使わない 火災、感電の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	絶対に分解したり、修理、改造は行わない 火災、感電の原因になります。
	濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
	電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および施工説明書に従って、電気工事士の資格をもった方が行う 不確実な接続をすると、接続部が発火し火災の原因になります。
	電源には漏電遮断器を取り付ける 故障や漏電の際に、感電する原因となります。
	電源線や電源コードは、定格仕様のものを使用し確実に接続する 不確実な接続は火災の原因になります。
	AC100Vの電源コンセントを使用する際は、定格15A以上のコンセントを単独で使用する 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱し火災の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災、感電の原因になります。
	電源プラグの刃などについたホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む 火災、感電の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

注意



商品には十分強度がある平らで垂直な壁面に確実に取り付ける
落下してけがの原因になります。

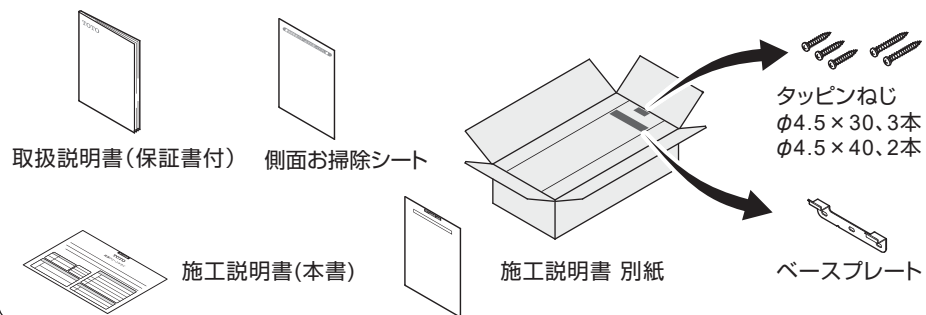
お願い

太陽光が入る場所では、太陽光の影響で誤動作する場合があります。

ご使用の際、手を激しく動かすなど手の乾かし方によっては細かな水滴が周囲に飛び散ることがありますので、壁材や床材には、耐水性のある材料をご使用ください。

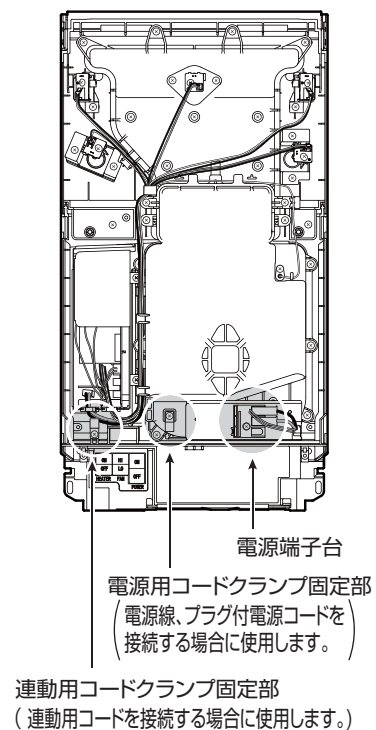
2 部品の確認および各部のなまえ

<付属品>

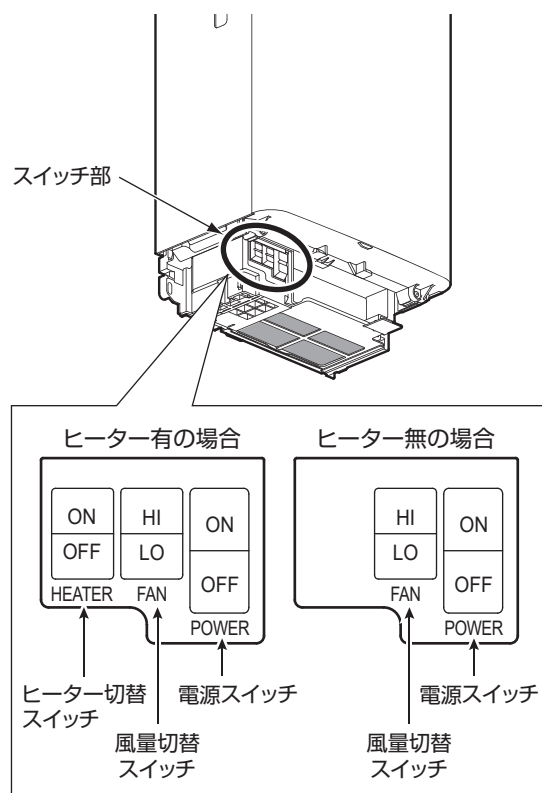


<本体内部>

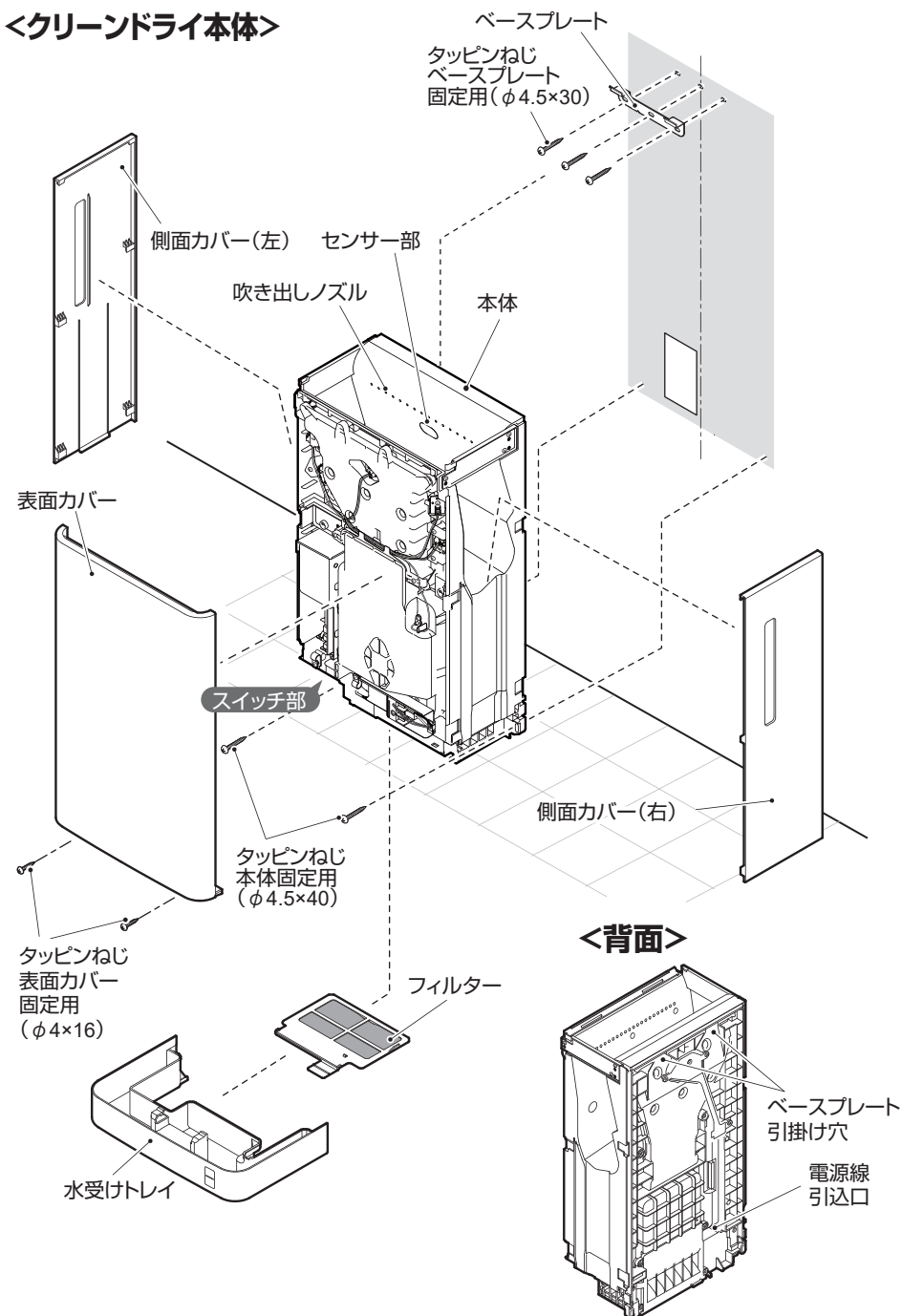
表面カバーを外した状態
※図はヒーター有仕様の場合



<スイッチ部>



<クリーンドライ本体>



3 施工方法 この施工方法は新設の場合を基準に作成しております。

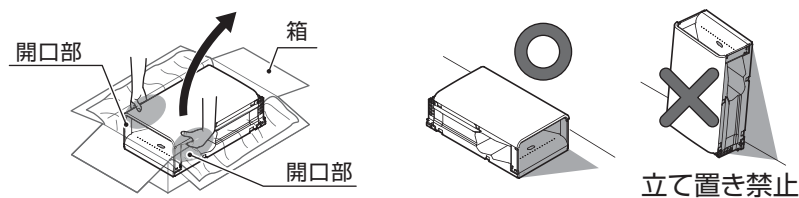
3-1 施工前の注意

⚠ 警告	禁止	指定する電源(AC100V)以外では使用しない 火災の原因になります。
	必ず実行	電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」 および施工説明書に従って、電気工事士の資格を もった方が行う 不確実な接続をすると、接続部が発火し火災の原因になります。
		電源には漏電遮断器を取り付ける 故障や漏電の際に、感電する原因になります。

■定格以上の過電流遮断器を単独で設置し、指定の電源を印加してください。

	TYC420型
過電流遮断器	定格15A以上
電 源	AC100V±10%
備 考	200V印加すると商品(コントローラー)が故障する

商品取り出しについて



お願い

- ・商品を箱から取り出す場合は、側面の開口部を持って取り出してください。
- ・商品を置く場合は、背面を下にして置いてください。立てたり、立て置きしないでください。
※転倒して、商品の傷つきの原因になります。
- ・商品を壁面にに取り付ける前に、側面カバーや水受けトレイを組み付けしないでください。
※そのまま持ち上げると、落下によりけがや商品の傷つきの原因になります。

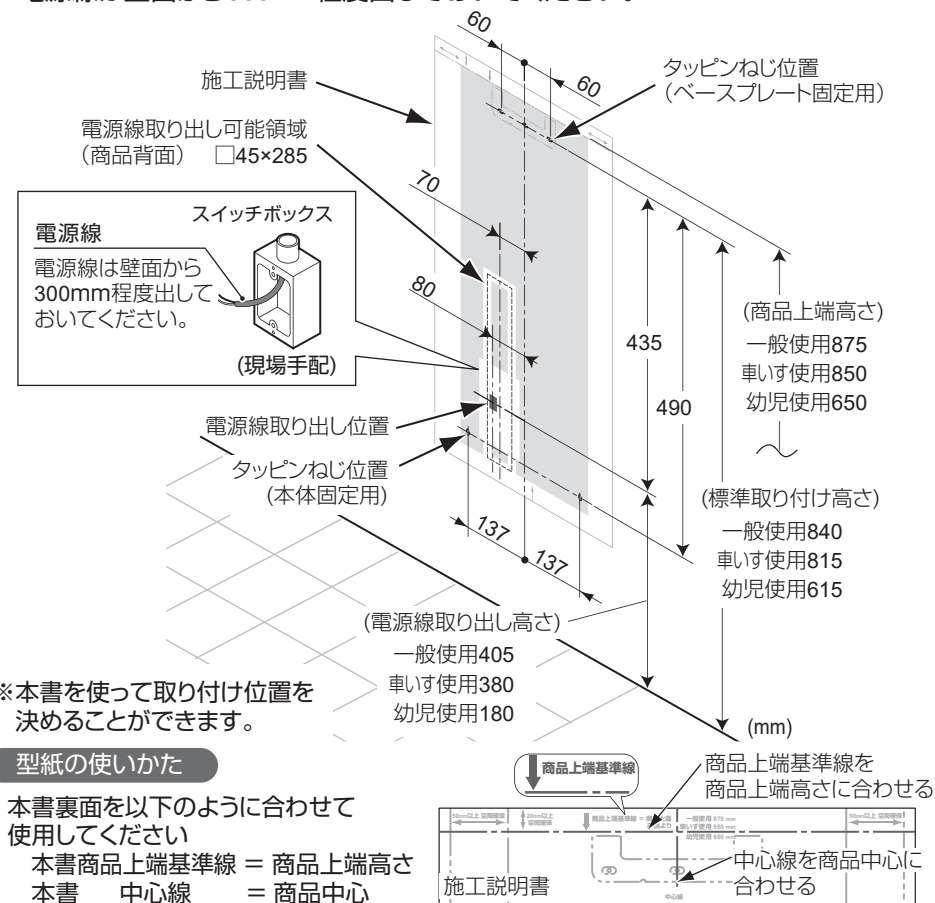
<専用カウンター(別売品)に設置する場合は、別紙 専用カウンター(別売品)への設置方法
をご確認ください>

3-2 電源線直結時の施工方法

<電源プラグ使用時は 3-3 をご確認ください>

1 スイッチボックスの埋め込みと配線

- ・スイッチボックス(JIS C 8340)を壁面に埋め込み、電源線(VVFケーブルφ1.6
またはφ2.0の単線)を配線します。
 - ・スイッチボックスの中心位置は、以下のとおりとしてください。
上下方向…ベースプレート固定用ねじ位置より435mm下側
左右方向…中心より70mm左側
 - ・電源線取り出し位置は、以下のとおりとしてください。
上下方向…ベースプレート固定用ねじ位置より435mm下側
左右方向…中心より80mm左側
- ※電源線は壁面から300mm程度出しておいてください。



2 ベースプレートの取り付け

⚠ 注意



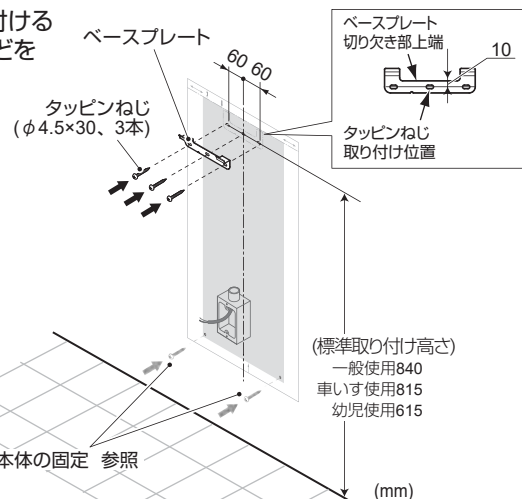
必ず実行

商品は十分強度がある平らで垂直な壁面に
確実に取り付ける
落下してけがの原因になります。

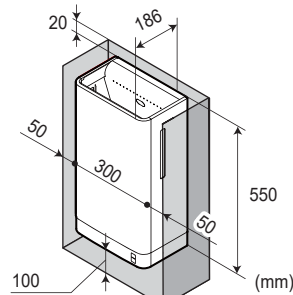
・ベースプレートをタッピンねじ(φ4.5×30、3本)を用いて、確実に壁面に固定します。

※タイルやコンクリートの壁面に取り付ける
場合には、樹脂プラグ(現場手配)などを
使用して取り付けてください。

※タッピンねじ1本あたりの引き抜き
強度1000N以上確保してください。



商品周囲必要空間



※本書を使って取り付け位置を決めることができます。使いかたは、
3-2 ① スwitchボックスの埋め込みと配線 **型紙の使いかた** を確認ください。

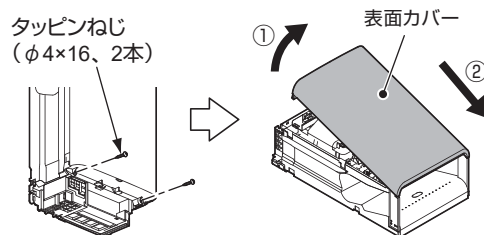
お願い

・商品底面から下方100mm以内には障害物がないように空間を設けてください。
また、凹凸のある壁面へ設置しないでください。
本体動作時、吸気の妨げになり故障の原因になります。
・商品上面から上方20mm以内、側面から側方50mm以内には障害物がないように
空間を設けてください。
本体の着脱や、側面カバーを外して排水路を清掃するために必要な空間です。

3 表面カバーの取り外し

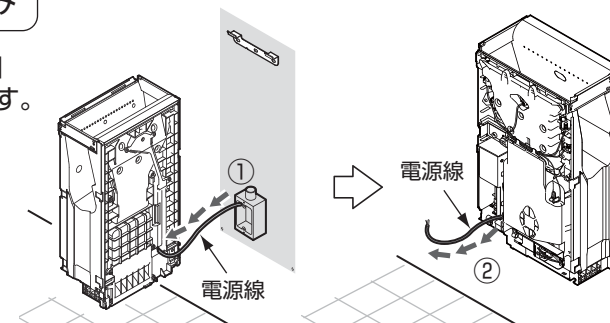
・タッピンねじ(φ4×16、2本)
を取り外します。

・表面カバー下部を手前に引き、
商品上側へ押し上げるようにして、
表面カバーを取り外します。



4 電源線の引き込み

・本体背面の電源線引込口
より電源線を引き込みます。



・電気温水器(別売品)と連動する場合は、機器連動用中継コード(別売品)を
同時に引き込んでください。

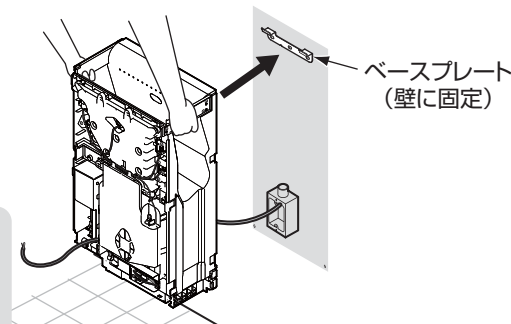
➡ **3-4** 電気温水器(別売品)の接続方法 参照

5 本体の壁掛け

・本体を、壁に固定した
ベースプレートに引っ掛けます。

お願い

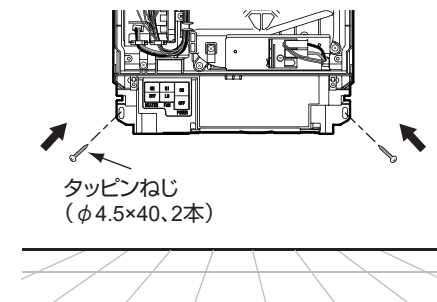
電源線を、壁面と本体との間に
挟まないように十分注意してください。



6 本体の固定

・本体下部をタッピンねじ
(φ4.5×40、2本)で固定します。

※タイルやコンクリートの壁面に
取り付ける場合には、樹脂プラグ
(現場手配)などを使用して取り
付けてください。



7 電源線の接続



警告



必ず実行

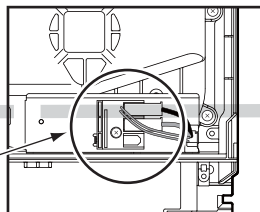
電源線は、先端をそろえ端子台に確実に差し込む
差し込みが不十分だと火災の原因になります。

・本体に引き込んだ電源線を電源端子台に接続します。

●電源端子台への接続について

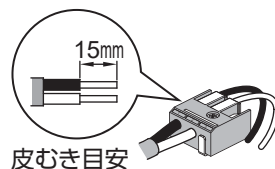
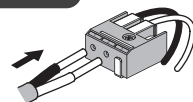
各々の芯線がまっすぐ15mm出ている状態に加工し、
端子穴に芯線を「グツ」と奥まで確実に差し込んでください。

電源端子台
(速結タイプ)



確実に差し込んでください。

“グツ”と奥まで
確実に差し込む



皮むき目安

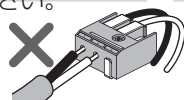
・電源線の芯線2本が端子台の手前で
均一になるように加工してください。

・端子台の近くで大きく曲げると先端が
十分に差し込まれない場合があります。

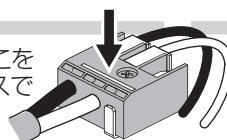


・端子台の芯線を奥までまっすぐ
差し込んでください。

差し込み不足



・電源線を外すときはここを
電工ドライバーマイナスで
強く押してください。

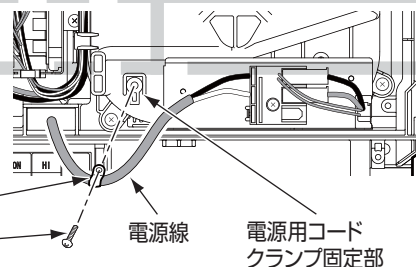


8 電源線の固定

・本体付属のクランプとタップピンねじ
($\phi 4 \times 16$, 1本)にて、電源線を本体
電源用コードクランプ固定部に
固定してください。

※3芯の電源線の場合は、
市販品のクランプを使って
固定してください。

クランプ
タップピンねじ
($\phi 4 \times 16$)



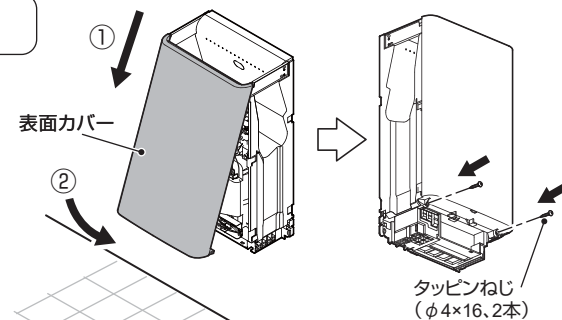
電源線

電源用コード
クランプ固定部

9 表面カバーの取り付け

・本体上部に表面カバーの
上部をはめ込み、かぶせるよう
にして取り付けます。

・表面カバー下部を、タップピン
ねじ($\phi 4 \times 16$, 2本)で
固定します。

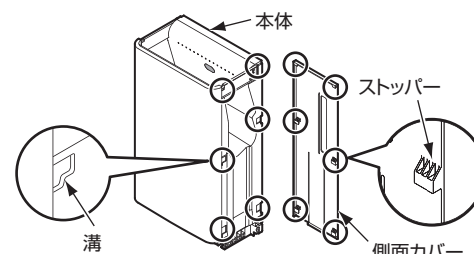


お願い

表面カバーを取り付ける際は、電源線や本体内部の電線類
などをかみ込まないよう注意してください。

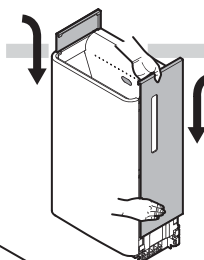
10 側面カバーの取り付け

(1) 本体の溝(6カ所)に側面カバー
のストッパー(6カ所)を差し込む
ようにして取り付けてください。



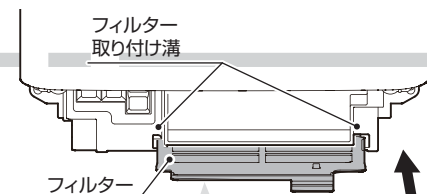
(2) 側面カバーが本体より1cm程度上
に出た状態で6カ所のストッパーが
本体の溝にはまります。

側面カバーの下部を押さえながら上から
下に押し込んでください。
取付後、表面カバーと側面カバーにすき間が
ないか確認してください。すき間のある場合は、
側面カバーを外し、再度取り付けてください。

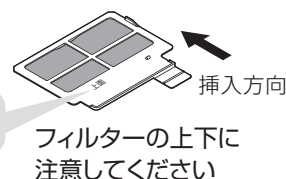


11 フィルターの取り付け

・フィルターを本体下部のフィルター
取り付け溝に差し込み取り付けます。



「上面」の記載を
上にする



フィルターの上下に
注意してください

左右のフィルター取り付け溝に
確実に差し込み、クリック感が
して止まるまで入れてください。

※試運転後、水受けトレイを取り付けてください。

3-3 電源プラグ使用時の施工方法

警告	 禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	 必ず実行	AC100Vの電源コンセントを使用する際は、定格15A以上のコンセントを単独で使用する 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱し火災の原因になります。

※プラグ付電源コードは、必ず別売品(品番:TYC502型)を使用してください。

1 表面カバーの取り外し

・「3-2 ③ 表面カバーの取り外し」をご確認ください。

2 電源コードの引き込み

・本体背面の電源線引込口から、電源コードを引き込みます。
 「3-2 ④ 電源線の引き込み」をご確認ください。

・電気温水器(別売品)と連動する場合は、機器連動用中継コード(別売品)を同時に引き込んでください。

➡ **3-4 電気温水器(別売品)の接続方法** 参照

3 電源コードの接続

・本体に引き込んだ電源コードを端子台に差し込みます。
 「3-2 ⑦ 電源線の接続」をご確認ください。

4 電源コードの固定

・電源コードを、本体電源用コードクランプ固定部に固定してください。
 「3-2 ⑧ 電源線の固定」をご確認ください。

5 表面カバーの取り付け

・「3-2 ⑨ 表面カバーの取り付け」をご確認ください。

6 ベースプレートの取り付け

・「3-2 ⑫ ベースプレートの取り付け」をご確認ください。
 ※あらかじめ、本体に取り付けた電源コードが、接続するコンセントまで届くことを確認してください。

7 本体の壁掛け・電源コードの取り回し

・「3-2 ⑤ 本体の壁掛け」をご確認ください。



お願い

電源コードを、電源コード引き出し溝へ納めた状態で、本体を壁掛けてください。

お願い

電源コードを、壁面と本体との間に挟まないように十分注意してください。

8 本体の固定

・「3-2 ⑥ 本体の固定」をご確認ください。

9 側面カバーの取り付け

・「3-2 ⑩ 側面カバーの取り付け」をご確認ください。

10 フィルターの取り付け

・「3-2 ⑪ フィルターの取り付け」をご確認ください。

※試運転後、水受けトレイを取り付けてください。

3-4 電気温水器(別売品)の接続方法

電気温水器(別売品)との連動について

クリーンドライ作動時に電気温水器のヒーターを一時的にOFFにする機能です。
クリーンドライと電気温水器を同時運転しないように相互通信し、ピーク電力を抑えることができます。

電気温水器 品番:REW-B/D型(タイマー付き 100V)

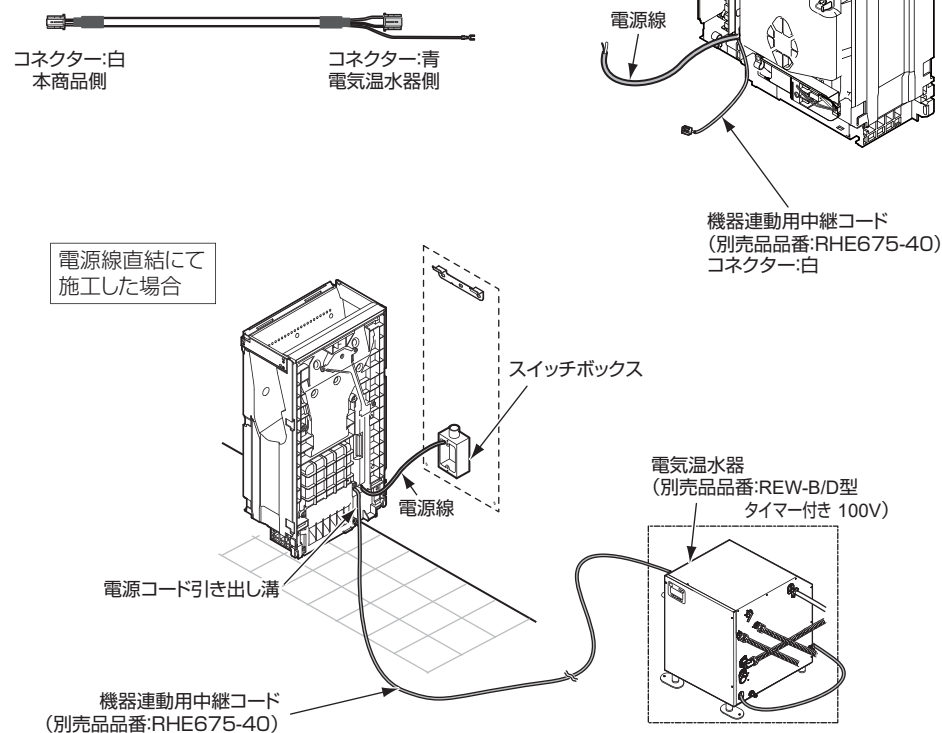
機器連動用中継コード 品番:RHE675-40(4.0m)

※電気温水器との機器連動機能は、2台まで使用できます。

1 連動用コードの引き込み

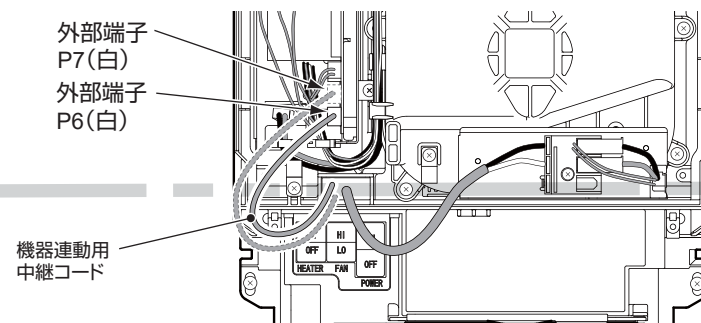
- ・本体内に電源線を引き込む際に、連動用コードも同時に電源線引込口より引き込みます。

※機器連動用中継コード(別売品)のコネクターは、白側を引き込みます。



2 連動用コードの接続

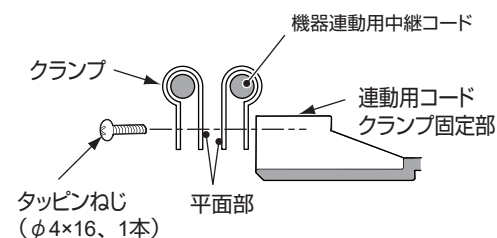
- ・本体内に引き込んだ連動用コードをコントローラーの外部端子(P6:白またはP7:白)に接続します。



3 連動用コードの固定

- ・本体付属のクランプ(2個)とタッピンねじ(φ4×16、1本)にて、連動用コードを本体連動用コードクランプ固定部に固定してください。

クランプは、平面部を合わせるようにし取り付けてください。



50mm以上 空間確保

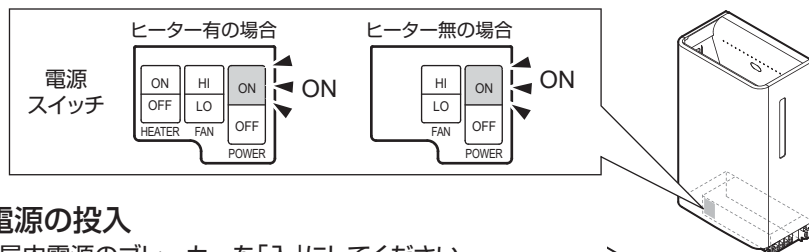
20mm以上 空間確保

商品上端基準線 = 商品上端 床面より

4 試運転

1 試運転

- 取り付けが完了しましたら、以下の方法で試運転を行ってください。
- ・ 水受けトレイを取り付けている場合は水受けトレイを取り外してください。



1. 電源の投入

- ・ 屋内電源のブレーカーを「入」にしてください。
- または、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2. 電源スイッチの投入

- ・ 電源スイッチを「ON」にしてください。

3. 照明の確認

- ・ 電源スイッチを入れて照明の点灯を確認してください。
- 照明がつかないときは、もう一度、電源スイッチを確認してください。

※照明が不要の場合は設定変更ができます(エラー時には照明が点滅します)。

4. 動作の確認

- ・ 乾燥室内部に手を差し込み、風が吹き出すことを確認してください。



5. 風量切替スイッチ、ヒーター切替スイッチの確認

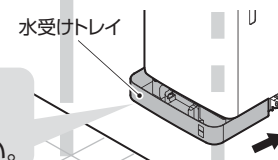
- ・ 風量切替スイッチおよびヒーター切替スイッチを操作し、モードが切り替わっているか確認してください。
- ※切替操作は、運転が完全に停止してから行ってください。
- ※出荷時設定: ヒーター有仕様「FAN:HIGH」「HEATER:ON」
- ヒーター無仕様「FAN:HIGH」

- 電気温水器との接続をした場合は、機器連動用中継コードに付属の施工説明書に従い正常に動作しているか確認してください。

2 水受けトレイの取り付け

- ・ 水受けトレイを本体に取り付けます。

クリック感して止まるまで確実に差し込んでください。



3 施工チェック項目

- ☐ 商品周囲必要空間は守られていますか? 下方100mm 側方50mm 上方20mm
- ☐ 本体がぐらついたりしていませんか?
- ☐ タッピンねじ本体固定用が2本取り付いていますか?
- ☐ 表面カバー、側面カバー、フィルター、水受けトレイは取り付けられていますか?
- ☐ 電源線や電線類を、表面カバーや本体背面にかみ込んだりしていませんか?

試運転のあとは

■ 工事店様へ

試運転での動作確認が終了しましたら、付属の「取扱説明書(保証書付)」「側面お掃除シート」をお客様に渡し、商品の使いかたについて説明してください。

乾燥室の照明を消したい場合は ※出荷時:常時「点灯」設定

お願い

- ・ 切替完了までは、センサーに手をかざさないでください。
- 途中でファンモーターが動作すると、切替ができなくなります。
- ・ 作業は電源スイッチ「ON」後、20秒以内に始めてください。

乾燥室の照明を消したい場合(常時「消灯」設定)

- ① 電源スイッチを「OFF」にした後、切替操作を行ってください。
- ② 電源スイッチを「ON」にしてください。
- ③ 風量切替スイッチを **4回** 切り替えてください。
- ※「HI」「LO」どちらの状態から始めても設定できます。
- ④ 風量切替スイッチの最初の操作から約10秒後に照明が切り替わります。

乾燥室の照明を元に戻す場合(常時「点灯」設定)

- ※同様の操作をおこなってください。
- ※照明が切り替わらなかった場合は、もう一度最初からやり直してください。



一般使用 875 mm
車いす使用 850 mm
幼児使用 650 mm
タッピンねじ位置

50mm以上 空間確保